

メモリーバッファDAI用アダプタ基板

本基板をつかって生じた感電、火災等の一切のトラブルについては、当方は責任を負いませんのでご了承ください。また基板、回路図、マニュアル等の著作権は放棄していませんので、その一部あるいは全体を無断で第三者に対して使用することはできません。

本マニュアルに記載の内容は製作上級者の方には不要なものが多く含まれますが、製作の前に必ずお読みいただきますようお願いします。

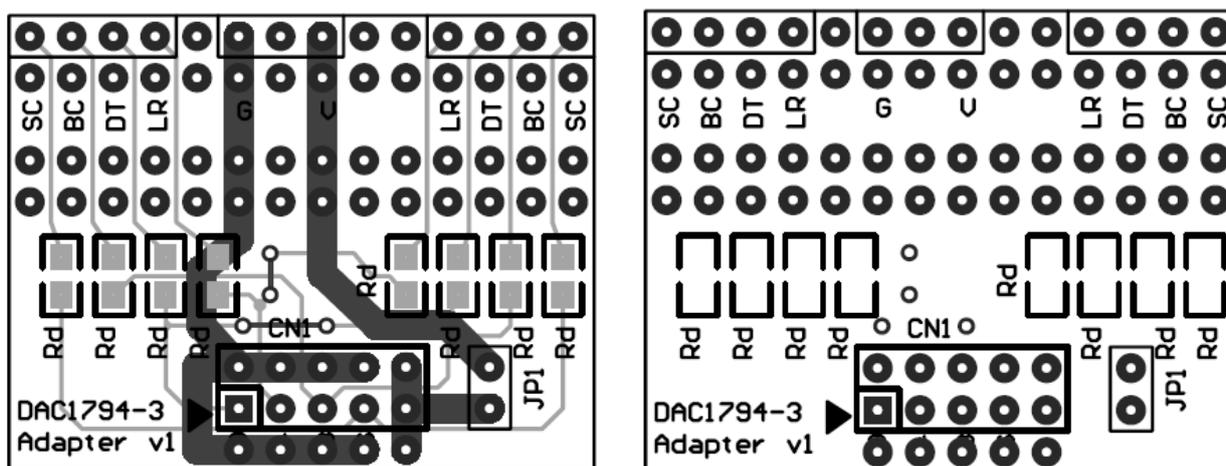
1. はじめに

これはメモリーバッファDAI用に製作したDAC1794-3およびDAC1704-4D用のアダプタ基板です。これらはあくまで実験用の基板として位置づけますので、DAC基板側の回路をよくご理解いただき利用されることを望みます。

以下に参考資料を記します。

2. DAC1794-3用アダプタ基板

(a) 基板パターンおよびシルク



(b) 使用部品

ダンピング抵抗 : $R_d \times 8$ 個 (51Ω程度を推奨)
コネクタ、ピン : 若干数

(c) 完成写真例

アダプタ基板にはソケットを半田付けする。基板のシルク”G”部はDAC基板本体のGND部と接続されていますので、別線を配線する必要はありません。



(c) 取り付け方法

(i) DAC1794-3 のダンピング抵抗を取り外し、代わりにピンを実装する。

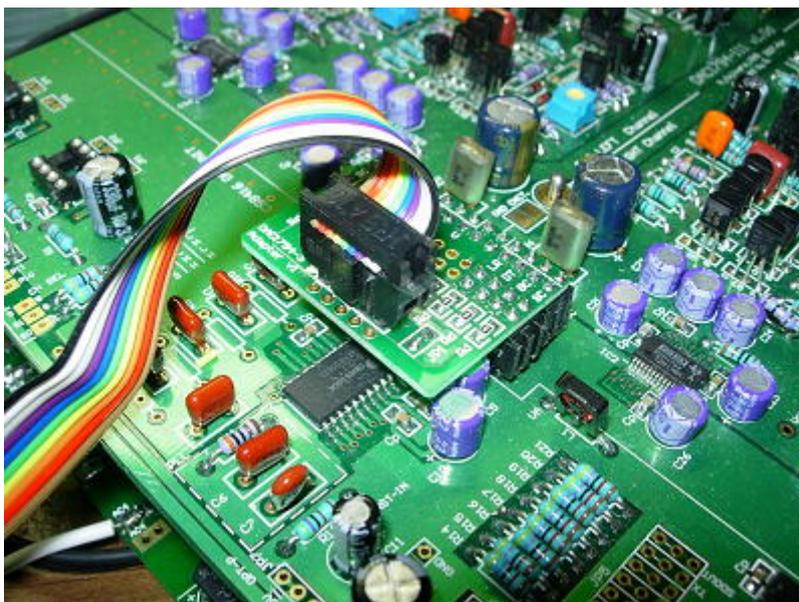


ピンを取り付けた状態。

(d) 接続

下図を参照してとりつける。

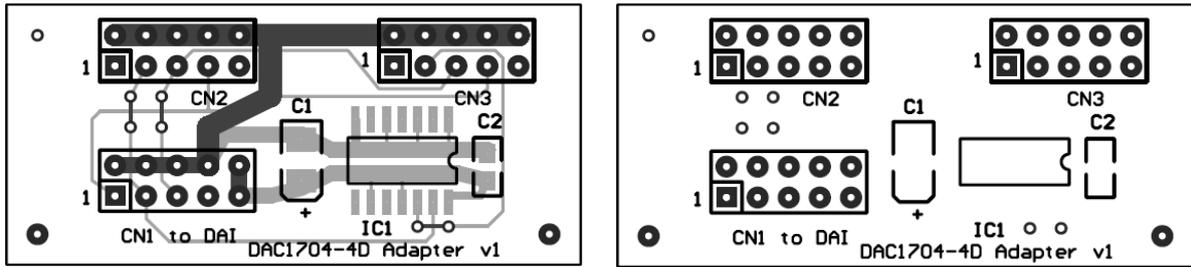
(注) 電源を DAC1794-3 より供給させる場合は、アダプタ基板のシルク”V”の位置に5Vの電源線をDAC1794-3に基板裏でジャンパ配線をしておき、アダプター基板のJP1をジャンパー配線します。メモリーバッファ-DA1に個別の電源供給する場合はジャンパー線は不要です。



接続の様子

2. DAC1704-4D 用アダプター基板

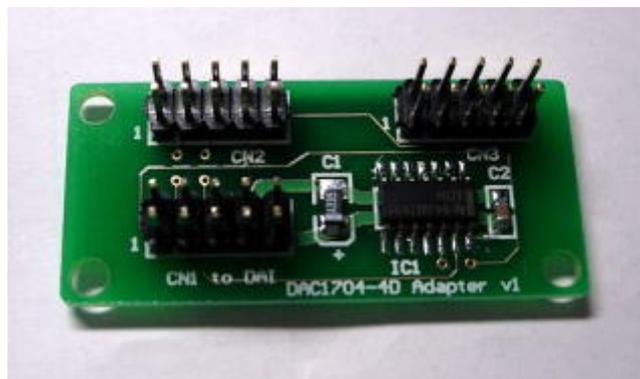
(a) 基板パターンおよびシルク



(b) 使用部品

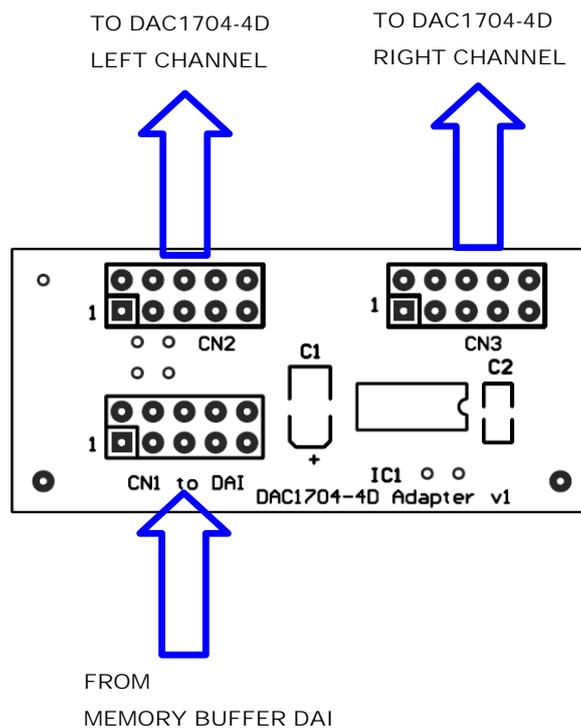
IC1: 74AC04 (SOP), C1: 10 μ F/6.3V, C2: 0.1 μ F/25V
 コネクタ、ピン: 若干数

(c) 完成写真例

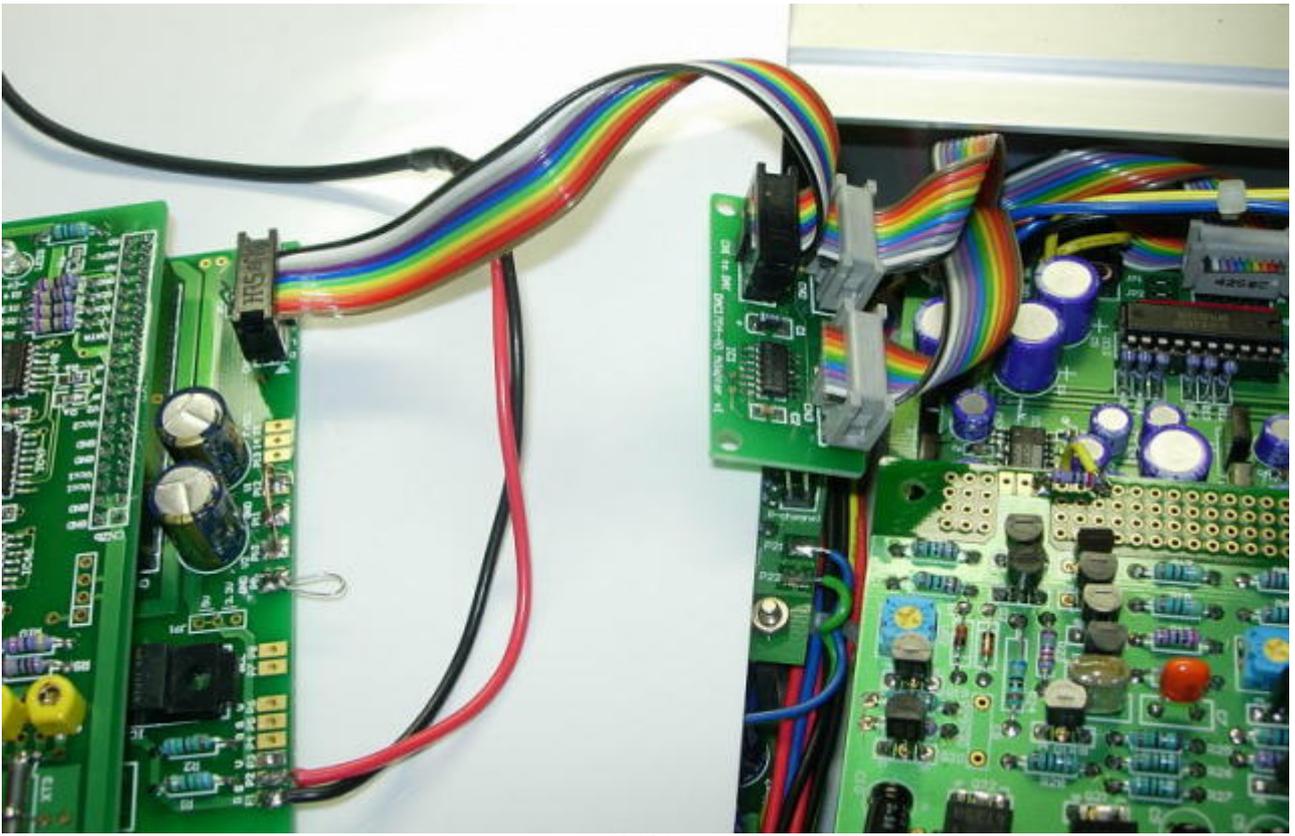


(d) 接続

次図を参照に接続します。なお、本アダプター基板を使用した場合は NOS モードでの動作になります (単純に LRCK 信号をインバータで反転したものを他 ch 側に供給するだけの基板です)。電源についてはメモリバッファ側から供給するため、必ずメモリバッファ-DAI に電源を接続し、JP2 を接続してください。



接続図



接続例

4. 編集履歴

R.1 2007.9.8